



皆様、田植えの準備は進んでいるでしょうか？田植前後の管理を適切に行うことで、品質・収量などが大きく変わってきます。

今回は、田植前後の管理についてご説明します。

☆代かき時のポイント 代かきは丁寧に

代かき作業の出来は、除草剤の効果も左右し、田植えの速度、植え付け精度に大きく影響してきますので、代かきは丁寧に均平になるよう作業をしましょう。

ここがポイント！

代かきを過度にすると土壌の団粒構造を著しく壊し、通気性や透水性を損なって根腐れなどの弊害を起すので、練りすぎないように注意しましょう。

代かき作業時の水深は、耕うんした土壌が少し見える3〜5cm程度が作業しやすい目安です。



☆田植え時のポイント 移植は気温と深さに注意

移植期は平均気温が一四〜一五℃が最適であるため、五月中旬以降が安定した時期となります。移植時は、一〜二cmの浅水で一坪当たり五〇〜六〇株、植え付け本数三〜四本を励行しましょう。

ここがポイント！

田植えの際、土が柔らかすぎると植付け深さが深くなりやすく、埋没株も発生しやすくなります。このような場合は、作業速度を遅くすることで埋没株の発生を減らしましょう。

水田面は羊かん程度の硬さが田植えの目安です。

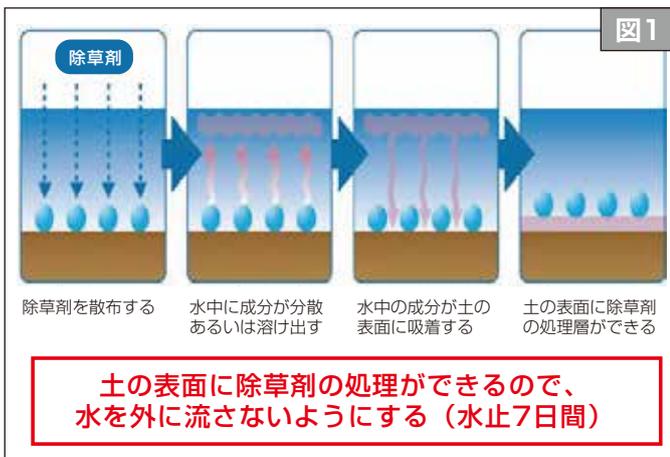


除草剤使用のポイント

除草剤は土の表面に処理層を作ることにより除草効

果を発揮します（図1）ので、次のポイントに注意し作業しましょう。

- ① 耕起・代かきは均平になるよう丁寧に行う。
- ② 畦畔からの水漏れがないよう畦塗り等補強を行う。
- ③ 除草剤散布後、七日間は排水せず給水を制限し、止水管理する。
- ④ 降雨が予想される際は散布を控える。
- ⑤ 除草剤散布後は、水田に入らない（処理層が壊れてしまう為）



☆病害虫の防除

移植前の育苗箱に施用することにより、病気や害虫が長期にわたって予防できます。イネミズウムシの被害により初期生育が遅れる水田やニカメイチュウの被害が多い圃場、また、いもち病が毎年発生する水田では箱施用剤により予防することが必要です。

この時期よくある質問

水稲栽培Q&A

Q 水稲とヒエの違いが良くわかりません。なにか見分け方がありますか？

A 水稲とヒエは同じイネ科のため姿が非常に良く似ており、放っておくと田んぼに悪影響を及ぼす雑草です。ヒエは大きくなるため除草剤による防除が困難になるため注意が必要です。

水稲とヒエの違い



水稲には節に毛が生えています。

野菜づくり

今月は
連作障害の
対策



連作障害対策を実施し 健全な夏野菜を栽培しよう！

新緑の時期になり、これから夏野菜の定植を予定されている方も多いのではないだろうか。今回は、本格的な夏野菜の定植が始まる前に連作障害への対策をご説明します。

■連作障害とは？

同じ場所で同じ植物を何度も育てることを「連作」といいます。このとき、何かしらの原因で生育が悪くなったり、枯れたりすることを「連作障害」といいます。

■連作障害の原因

・病気や害虫が土の中にいる

前作で育てた作物に寄生していた病気や害虫が土の中に残っている、土から伝染して被害がでます。アブラナ科の野菜に起こりやすい根こぶ病や、センチュウによる被害が代表的です。



野菜に感染した根こぶ病

・土壌の成分が悪い

植物は、生長する過程で、アレロパシーという毒素を根から土に排出します。アレロパシーは他の植物の生長を抑えるほか、動物や微生物を引き寄せたり防いだりする効果があり、排出すること自体は生理的な現象です。ただ、このアレロパシーの濃度が高い土で植物を育てると、生育に悪影響を与えてしまいます。

・肥料成分のバランスが悪い

植物によって必要とする肥料成分のバランスは違います。そのため、肥料成分のバランスが極端に崩れていると、植物に必要な成分が多すぎたり、少なすぎたりして、生育が悪くなります。

■連作障害への対策

・輪作をする

輪作とは、異なる植物を一定周期ごとに交互に植える方法です。吸収する養分やかかりやすい病害虫が違う植物を植えることで、土の状態が悪くなるのを防ぎます。(図1)

・土を入れ替える

連作障害は、土から悪い影響を受けることがほとんどなので、土を入れ替えることも対策の一つです。プランターや鉢植えは、毎回新しい土を使うと安心です。地植えは、他の場所の土を混ぜ込んだり、深いところの土を掘り返したりするとよいでしょう。

・土壌を消毒する

専用の薬剤や太陽熱、水を利用して土を消毒していきます。

夏場に古い土の上にビニールで覆って病原菌や害虫を排除する方法が最も経済的です。

・接木苗を使う
病気に強い種類の品種の苗を台木に育てたい野菜の苗を接いで育てます。障害を避けることができます。



太陽熱利用による土壌消毒

図1	野菜名	休載年数
出にくい野菜	アスパラガス、ホウレンソウ、ニラ、ネギ、ダイコン、ニンジン、タマネギ、ニンニク、カンショ、スイートコーン、カボチャ、オクラ	—
出やすい野菜	レタス、コマツナ、ナガイモ、イチゴ	1年
	ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー、カブ、パレイショ、サトイモ、ゴボウ、ササゲ、インゲン、エダマメ	2～3年
	トマト、ナス、キュウリ、スイカ (接木栽培で連作可能) ピーマン、エンドウ	5年以上

今月のレシピ

針野菜たっぷり
ジャージャー麺

★材料 (1人分)

中華麺 …… 1玉	肉みそ	塩、こしょう …… 適宜
トマト …… 1/4個	ひき肉 …… 150g	料理酒 …… 大さじ1
ゆで卵 …… 1/2個	てん麺じゃん …… 大さじ1と1/2	水 …… 3/4カップ
針野菜	豆ちじゃん …… 小さじ1	がらスープのもと …… 小さじ1
キュウリ …… 1本	砂糖 …… 小さじ2	水溶き片栗粉 …… 大さじ1
ミョウガ …… 2個	しょうゆ …… 小さじ1	サラダ油 …… 大さじ1
シュンギク …… 1/5わ	おろしニンニク …… 少々	ごま油 …… 小さじ1
	おろしショウガ …… 小さじ1	

★作り方

- フライパンにサラダ油を熱しひき肉を入れ、塩・こしょうをして炒める。料理酒、てん麺じゃん、豆ちじゃん、砂糖、しょうゆ、おろしショウガ、おろしニンニクを入れ、さらに炒める。水、がらスープのもとを入れ、水溶き片栗粉でとろみをつけ、仕上げにごま油を入れる。
- 別鍋に湯を沸かし、中華麺をゆで、皿に盛り付け、肉みそ、針野菜、トマト、ゆで卵をのせて出来上がり。

★ポイント

ゆで上がった麺にがらスープのもと(分量外)を少量入れ混ぜておくと、おいしさアップ

レシピ考案/茨城県笠間市にある「キッチン晴人(ハレジン)」のオーナーシェフ・永井智一(ながい・ともかず)さん